



富山県・私立荒井学園新川高校 数学科
濱元克吉 + 神戸篤

世代や経験の差を超えて お互いの良さを認め合う関係が出発点

過去の挫折にとらわれる生徒に
自信を取り戻させたい

神戸 新任の頃から、大学の先輩でもある濱元先生に付いて回り、すっかり感化されて今の自分があります。

濱元 逆に私も、神戸先生から学ばせてもらっています。神戸先生は柔軟性があり、若いのに自分の意見をはっきりと伝えられる強さも持っています。

「あの会議は必要だったのでしょうか」といった、真つすぐな言葉に目が覚める思いをしたことが何度もあります。

神戸 それは、濱元先生が受け止めてくれるという安心感があるからです。

濱元 5年前に数学で学び直しの導入を考えた時も、率直な意見を聞きたくて、まず神戸先生に伝えました。

神戸 「絶対にやりましょう！」と即答したのを覚えています。

濱元 うれしい反応でした。本校には、本当は力があるのに、小・中学校時代の挫折から脱け出せず、「自分は勉強が出来ない」と思い込んでいる生徒が少なくありません。学び直しを通して、「頑張れば出来る」ことを実感させ、学力を高めながら、生きていく上で必要になる自信を与えたいと考えました。

神戸 当時、教師になったばかりの私は、生徒の自信の無さにショックを受けていました。だからこそ、濱元先生の考えに共感しました。

濱元 分数までさかのぼる100枚以上のプリントの作成は、神戸先生に中心になって進めてもらいました。そのプリントは、授業での活用他、放課後や夏休みの補習でも使いました。

生徒に自信を持たせて 次のステージに送り出すために

濱元 プリントの作成など、学び直しの取り組みは、私たちにとっても決して楽なものではありませんでしたが、生徒の変化に元氣付けられましたね。

神戸 定期考査の平均点がアップし、ベネッセの基礎力診断テストのGTZ（学習到達ゾーン）（*）にも成果が表れましたが、何よりうれしかったのは生徒の表情の変化です。「分かった」という喜びに加え、教師の本気が伝わると、「ここまで自分に向き合ってくれるなんて」と感激する生徒もいました。
濱元 普通コースの生徒が自信を付け、大学進学を希望して特進コースに移った例もありました。その後、国語と英語にも学び直しを導入し、ますま

スタートラインに立てば 生徒は自ら学び始める

なぜ、勉強が分からないのか、その原因を取り除いてスタートラインに立たせてあげられれば、生徒は自ら学び始めます。数学という教科はそれが顕著であり、生徒がつまずいた箇所にさかのぼり、一つひとつ丁寧につまづきを克服していけば、必ず分かるようになります。そのため、神戸先生とは、生徒の実態や課題をどこん話し合いました。その中で、時には「自分はこう思います」と、私と異なる意見を主張してくれたからこそ、新たな気付きが得られ、取り組みが深まりました。だから、神戸先生に対しては、「後輩」という意識をあまり持っていません。自分に無いものを持っている頼もしい同僚というイメージです。



富山県・私立荒井学園新川高校
濱元克吉 40歳
はまもと・かつよし 教職歴16年。同校に赴任して17年目。進路指導主事。3学年主任。

*ベネッセのテストにおける共通の評価指標。「S1」～「D3」の15段階があり、基礎力診断テストではそのうちの「A2」～「D3」で評価される。

富山県・私立荒井学園新川高校

◎教育目標として、「心豊かで創造性に富み、主体的に活動する生徒を育てる」「社会に出て活躍する生徒を育てる」を掲げる。大学進学に対応する「特進コース」、専門学校への進学や就職の希望者を対象とした「普通コース」を設置。2年次には、全生徒が地元企業や公共施設において5日間のインターンシップを経験するなど、地域社会と密に連携した教育活動を展開する。

◎設立 1973 (昭和48) 年 ◎形態 全日制/普通科/共学 ◎生徒数 約400人

◎2015年度入試合格実績 (現役のみ)

国立大は、富山大に1人が合格。私立大は、城西国際大、国土館大、拓殖大、立正大、新潟青陵大、富山国際大、金沢星稜大、名古屋商科大などに延べ10人が合格。

◎URL <http://www.niikawa.ed.jp/>



す生徒たちは変わりました。以前の学校の雰囲気をよく知る教師は、生徒が学習に落ち着いて取り組む様子に驚いています。学び直しに前向きに取り組み、定期考査や模試で成果を実感すること、生徒にとつての「今、すべきこと」が明確になったからでしょう。

神戸 学び直しを継続すると共に、今年度から特別活動係長として、学校行事の企画・運営でも生徒に成功体験を積みせたいと考えています。教師はほとんど口を出さず、生徒たちの力で問題を解決するように導いています。

濱元 特別活動は、生徒の主体性を引

き出す格好の機会です。「生徒だけで大丈夫か」といった教師の不安は、なかなか拭い切れませんが、神戸先生が時間を掛けて生徒の考えや主体的な行動を引き出す姿を見て、「これこそやりたかった指導だ」と感じています。

神戸 濱元先生には、特別活動の指導についても、何度も助言をいただいています。そうしたサポートがあるから、実現することができています。

濱元 生徒が自信を持って次のステップに踏み出せるように、お互いの良さを生かし合いながら、今後も新たな試みにチャレンジしていきましょう。

周囲を見渡し続け

広い視野を持つ教師になりたい

濱元先生は、どの世代の先生からも頼られる人望の持ち主で、新たな取り組みを始めれば皆が付いていきます。学び直しの取り組みも、そうでした。これまで私は、教科指導や学級経営に専念してきましたが、今年度から学年副主任を任せられ、自身の視野の狭さを痛感しています。濱元先生が誰からも頼られるのは、常に他の先生方の仕事に興味を持ち、進んでフォローをするからだと考えています。それを見習って、常に周囲を見渡し、「手伝うことはありますか」「先生のクラスの取り組みは良いですね」などと積極的に声を掛けるようにしています。まだまだ高い目標ですが、少しでも濱元先生に近付けるように努力を続けます。



富山県・私立荒井学園新川高校
神戸 篤 28歳
 かんべ・あつし 教職歴5年。同校に赴任して6年目。生徒指導部特別活動係長。3学年副主任。数学科主任。